

第9期 松江 NPO ネットワーク事業 (2019.10.1~2020.9.30)

★印は、次ページからの資料で詳細を報告している事業です。

1. 交流・情報共有事業

- (1) 総会ならびに交流会の開催 ★
- (2) 情報発信（メールマガジン、ブログ、Facebook）
- (3) ネットワークづくり

2. スキルアップ事業

- (1) 自主・共催 勉強会の開催
 - ・寄付キャンペーン「寄付に感謝する集い」（12/12 開催）★
- (2) 他の勉強会への参加促進
- (3) 団体のサポート（講師派遣、相談、業務監査）★
- (4) 役員研修

3. 協働の推進事業

- (1) しきみづくり（諸会議への参加）
 - ・松江市行財政改革推進委員会（おやこ劇場松江センター）
 - ・松江市生活環境保全審議会（おやこ劇場松江センター ⇒ もりふれ倶楽部）
 - ・松江市総合計画・総合戦略推進会議（竹田）
 - ・松江市社会福祉審議会（竹田）
 - ・松江市共創のまちづくり企画運営委員会（竹田・原田）
 - ・松江市地域支え合い協議体（まごころサービス松江センター）
 - ・島根県県民いきいき活動促進委員会（原田）
 - ・共創のまちづくり推進本部会議 傍聴
- (2) 人材育成（共創・協働コーディネーター育成）
 - ・松江市職員 NPO 法人派遣研修の企画・運営 ★
（事前研修と報告会の企画・運営、受入先の見学、研修のふりかえり）
※2020 年度は新型コロナウイルスの影響により実施無し。9 期としては 2019 年度実施分の後半部分のみ。
- (3) 出会いの場づくり [交流会の開催（NPO、行政、企業等）]
 - ・共創のまちづくり企画運営委員会への参画
 - ・松江市市民活動センター指定団体関係 ★
 - ・2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル in しまね ★

4. その他団体の目的を達成するために必要な事業

- 「新型コロナウイルスの影響によるNPO及び多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書」
島根県および松江市への提出と面談 ★
- 会員への情報提供：新型コロナウイルス禍における総会の開催方法について ★
- 新型コロナウイルス感染拡大によるNPOへの影響に関する実態調査 ★

第9期 主な事業

事業 1. 交流・情報共有 — (1) 総会ならびに交流会の開催

■ 12月2日 松江 NPO ネットワーク第8期通常総会・交流会

事業 2. スキルアップ — (1) 自主・共催 勉強会の開催 (年4回程度)

島根県内 NPO 法人誕生 20 年&しまね社会貢献基金 10 年記念

寄付に感謝する集い (12月12日)

主催：(公財)ふるさと島根定住財団

共催：島根県 (NPO 活動推進室) 松江市 (市民生活相談課)

協力：松江 NPO ネットワーク

会場：松江市市民活動センター交流ホール

県内に NPO 法人が誕生して 20 年、しまね社会貢献基金が創設されて 10 年、全国で「寄付月間」が広がって 5 年、様々な節目を迎える年に、寄付を受け取る側の NPO や寄付してくださる側の企業から約 50 名が集り「寄付」をテーマに情報共有や NPO プレゼンリレー、意見交換や交流を行った。

イベントでは、

【NPO】寄付に対して直接感謝を伝える場を与えてもらえてありがたかった。

【企業】寄付をしても実際どのような活動をしているか知る機会がなかった。今回、直接聴くことができて良かった。

という声を聞くことができた。

また、開催直前に決定したプレゼンリレーを聞いた会場の皆さんから各団体へ応援メッセージをいただくしかけも、受け取った団体から「励みになる」などの声があり好評だった。

※なお、「寄付の集い」は(公財)ふるさと島根定住財団からの受託事業として、企画・運営をおこなった。



事業 2. スキルアップ

ー (3) 団体のサポート（講師派遣、相談）

【講師派遣】

- ・スタッフおよび正会員向け研修（ロジックモデル）：松江音楽協会（11/26）

〈研修の様子〉

10名の職員と2名の正会員が参加。「ロジックモデルづくり」をテーマに音楽協会が実施する自主事業のうちの2事業を取り上げ議論した。

【主な内容】

- 担当者から今回取り上げる事業の概要を説明
- 個人ワーク：「事業がうまくいった状態」を考える
- 全体ワーク：「具体的～抽象的」の軸と「時間」の軸にあてはめつつ「アウトプット⇒最終アウトカム」までつなげていく。

【参加者の感想】

- スタッフの間で事業目的について認識の違いがあることがわかって驚いた。
- 今やっていることが精一杯考えた結果だと思っていたけどもっと違う展開があることを知った。
- 人によって重きを置くところ、こだわるところが違うことがわかった。
- 目ざすところを見ることが必要だということを知った。



【相談】

- NPO 論発表サポート：しまね子どもセンター（10/16、12/10）
- ブログサポート：松江サードプレイス研究会（1/15 ほか）
※団体の情報発信について相談を受け、ブログ開設とHPからの移行作業をおこなった。
- 定款変更：まちづくりネットワーク島根（12/17、1/25）
- グッドガバナンス認証制度申請：あしづえ（12/13、2/14）

【業務監査】

- 松江音楽協会

事業 3. 協働の推進 — (2) 人材育成 (共創・協働コーディネーター育成)

人事課からの委託により、人事課と共に事前研修と報告会の企画・運営、受入先の見学、研修のふりかえりを行った。

年度		打ち合わせ・研修等	派遣研修	研修視察
N	市			
↑ 8 期 ↓	2019 年度	7/10 第1回打ち合わせ		
		7/19 第2回打ち合わせ		
		8/5 第3回打ち合わせ		
		8/8 事前研修 説明会		
		8/27 事前研修		
		9/10 事前研修ふりかえり	9/1～11/30 派遣研修 (各研修生5日間ずつ)	■訪問日程 9/17 プロジェクトゆうあい 9/26 松江音楽協会
↑ 9 期 ↓	2020 年度	12/3 報告会打ち合わせ	9/1～11/30 派遣研修 (各研修生5日間ずつ)	■訪問日程 10/3 まごころサービス松江センター もりふれ倶楽部 10/18 あしぶえ 11/8 松江サードプレイス研究会
		1/17 報告会打ち合わせ		
		1/31 報告会		
		2/13 報告会ふりかえり		

※2020年度は新型コロナウイルスの影響により実施無し。

事業 3. 協働の推進 — (3) 出会いの場づくり [交流会の開催 (NPO、行政、企業等)]

■ 2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル in しまね

- 事業についてはチラシを参照。
- 松江 NPO ネットワークの関わりについて
 - ・参加団体や関係機関等のコーディネート
 - ・チラシ、リーフレットの製作
 - ・会議の運営
 - ・会計
- 主なスケジュール
 - ・2019.10/21 第1回実行委員会
 - ・2020.1/16 第2回実行委員会
 - ・2020.3/5 第3回実行委員会
 - ・2020.4/1 第4回実行委員会（新型コロナウイルスの感染拡大により延期を決定）
- その他
 - ・寄付については引き続き依頼し、事務局で管理する
 - ・6/5 に監査をおこない、事務費を受け取った

■ 松江市市民活動センター指定団体関係

指定団体とは

主に松江市内において市民活動を行う団体を支援し、市内における市民活動の推進並びに市民活動団体と行政との共創・協働で活動を行う（中間支援）団体で、市に申請し指定を受けた団体

● 松江市市民活動センター指定団体の登録（4月）

〈市民活動センター指定団体 6 団体〉※2020.10 月時点

まつえ市民活動支援協議会／プリエールねっと／松江市文化協会

松江市ボランティア連絡協議会／まつえ環境市民会議／松江 NPO ネットワーク

● 松江市市民活動センター指定団体連絡会への参画（7/10 開催）

事業 4. その他団体の目的を達成するために必要な事業

- 「新型コロナウイルスの影響による NPO 及び多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書（別紙参照）」島根県および松江市への提出と面談

【4/20 島根県および松江市に、E メールで要望書提出】

【5/14 島根県への訪問 環境生活部竹内部長、槇原次長、NPO 活動推進室曾田室長と意見交換】



要望書の提出後、新型コロナウイルス感染症対応に係る NPO 等への支援が予算化され、補助事業がスタートした。

【5/21 松江市への訪問 星野副市長、水市民部長、二村市民部次長と意見交換】



星野副市長との意見交換によって、松江市内の NPO 法人の新型コロナウイルスの影響について、実態調査を実施することとなった。



2020年4月20日

島根県知事 丸山達也 様

松江 NPO ネットワーク

代表 竹田 尚子

新型コロナウイルスの影響による NPO 及び多様な市民活動の 存続危機に対する支援に関する要望書

全国の NPO 支援センター等の支援組織が各地域の NPO の状況把握のために「新型コロナウイルス感染症対策に係る NPO 等支援のための緊急アンケート」を実施しました。島根県では(公財)ふるさと島根定住財団が実施し、その結果は以下のサイトで公開されています。

https://furefure-shimane.jp/assets/file/infomation/questionnaire_results.pdf

マスクや消毒液の入手困難などで感染症対策が十分に準備できない、自治体からの情報や方針がわかりにくいという県民全体に関わる問題のほか、NPO の組織運営や事業活動についての影響として次のような回答が多く見られます。

- 事業の中止や延期による収入減
- 理事会や総会等の必要な会議が開催できない（所轄庁への事業報告への影響）
- 市民活動施設やフィールド等の活動場所が使えない
- 今後の見通しが立たず事業計画が立てられない
- 活動に必要な寄付金集めや会員募集ができない

また、団体の周囲で発生している社会問題としては、以下の回答が目立ちます。

- 音楽・スポーツ・文化活動等の自粛や活動制限が懸念される
- 子どもの学習や遊びの機会、居場所等が心配される
- 子どもの保護者、福祉関係者等、支援者の感染リスクや負担が高まっている
- 地域の行事やサロン等の自粛により、高齢者が引きこもりがちになっている

これは島根県内での感染拡大が発覚する前に実施されたアンケートであり、4月16日の全国での緊急事態宣言を受けて、現状では更に事態は深刻化していると考えられます。

地域の様々な課題解決を担う NPO の事業停止等により、さらに困難を抱える方が増えないためにも、早急な対応をいただきたく、以下のとおり要望いたします。もちろん、私たち NPO 自らも、コロナの影響に積極的に対応していきたいと考えています。貴県におかれましても、NPO の側に対する要望をお寄せいただければ幸いです。

1. 要望の趣旨

2020 年 2 月中旬以降、新型コロナウイルス感染拡大のため、NPO（NPO 法人又はそれに準じて社会課題の解決等に取り組む組織）の事業継続にも影響が出ています。地域には NPO による多様な支援が生活の支えとなっている方が多くおられます。NPO の事業停止や利用者の減少が長期にわたることにより組織維持や職員の雇用が困難になれば、NPO の支援を受けている人も支えを失い、困難を抱える人が急増する可能性があります。そうした事態を引き起こさないためにも NPO への支援を求めます。

2. 要望の理由

現在、新型コロナウイルスによる被害を最小限に抑えるべく、官民挙げた取り組みが進んでおりますが、それに伴う経済的な被害や失業への不安が広がっています。長期化すれば、今後さらに経済的困窮の加速から複合的な困難を抱える人や地域課題の増加が予想され、NPO の必要性はさらに高まります。

NPO が事業の停止や廃止、組織の解散を選択しなくてはならない事態が多発した場合、福祉、文化、スポーツ、教育、まちづくりなど、多様な分野において活発な県民による取り組みが消滅または後退し、連鎖して様々な社会の綻びが生まれていく可能性があります。

県民いきいき活動に注力してきた島根県ですが、事態収束後、まちづくりの担い手が消滅していたというような事態を避けるためにも NPO の事業継続を支援する必要があります。

3. 要望の詳細 上記の状況に対して以下を要望します。

- (1) 「持続化給付金」と同様に、各種支援について NPO も対象とすること。
- (2) 新型コロナウイルスの影響により閉所や開催延期や中止を余儀なくされた委託事業や補助事業について、このことを理由とした減額や委託取り消し等を行わないこと。
- (3) NPO に対する各種の支援情報を分かりやすく届け、活用できるようにすること。
- (4) NPO の事業継続のための包括的かつ事態収束後にわたる長期的な支援の実施。

4. 参考

■(公財)ふるさと島根定住財団ホームページ「新型コロナウイルス対応お役立ち情報コーナー」

<https://furefure-shimane.jp/information/>

■松江 NPO ネットワーク団体情報

<http://fields.canpan.info/organization/detail/1631080684>

5. 松江 NPO ネットワーク役員

代表 竹田 尚子（NPO 法人おやこ劇場松江センター 理事）

副代表 柏井 光 （NPO 法人まちづくりネットワーク島根 理事長）

副代表 勝部 正樹（認定 NPO 法人まごころサービス松江センター 理事長）

野田 真幹（NPO 法人もりふれ倶楽部 理事・事務局長）

毎熊 浩一（島根大学法文学部 教授）

事務局 原田 陽子（有限会社雲南石油商会 役員）

監事 南木 憲治（松江市市民活動センター コーディネーター）

監事 田中 隆一（NPO 法人プロジェクトゆうあい 理事長）

● 新型コロナウイルス感染拡大によるNPOへの影響に関する実態調査

1. 調査概要

1. 目的 新型コロナウイルス感染拡大によるNPO（NPO法人および市民活動団体）への影響に関する実態調査を行うことで、市内NPOの状況や課題を把握し、事業継続のための支援を検討する。

2. 調査 【調査1】松江市内の市民活動団体への影響に関する実態調査
【調査2】松江市内のNPO法人への影響に関する実態調査

3. 調査内容

【調査1】市民活動団体対象

新型コロナウイルス感染拡大による市民活動団体への影響に関する実態調査

【調査2】NPO法人対象

新型コロナウイルス感染拡大によるNPO法人への影響に関する実態調査および調査と分析に必要な情報を収集するための団体の基礎情報調査

- （1）団体の基礎情報調査
- （2）新型コロナウイルス感染拡大によるNPO法人への影響に関する実態調査

4. 調査対象

【調査1】松江市内で活動する市民活動団体のうち市民活動センター指定団体（松江NPOネットワークを除く）に加入している団体（NPO法人、重複して加入している団体分を除く）

〈市民活動センター指定団体〉

- ・まつえ市民活動支援協議会・プリエールねっと
- ・松江市文化協会・松江市ボランティア連絡協議会

計267団体

【調査2】松江市内のNPO法人のうち、2018年度の事業報告書を所轄庁へ提出している法人
計67法人

5. 調査方法 【調査1】郵送 【調査2】メール（Webアンケート）39法人／郵送28法人

6. 実施期間 2020年6月22日～6月30日

7. 回収結果

【調査1】**182団体（回答率68.2%）**（返信用封筒:166、手渡し:6、webフォーム:10）

【調査2】**39法人（回答率58.2%）**（返信用封筒またはメールでの返信:20、webフォーム:19）

8. 調査結果について

調査結果は市ホームページで公開されています（下記URLまたはQRコードから）

<https://bit.ly/3a9DRJ9>



● 会員への情報提供：新型コロナウイルス禍における各種情報

メーリングリスト・ブログなどで、会員ほかに向けて情報提供をおこなった。

4月20日

- コロナ問題の中、NPO・NGO はどう活動すべきかの情報を共有するグループ（FB 利用者のみ）

<https://www.facebook.com/groups/covid19npngo/>

- わかやま NPO センター「Covid19 対策と NPO 法人の総会」

https://youtu.be/mZPkswMF_E8

- 内閣府 NPO ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関連した情報」

<https://www.npo-homepage.go.jp/news/coronavirus>

- ふるさと島根定住財団「新型コロナウイルス対応お役立ち情報コーナー」

<https://furefure-shimane.jp/news/200415042901.html>

4月28日

- 島根県 環境生活部環境生活総務課 NPO 活動推進室

前述の【総会の開催の手引き】の通りとのこと。

現時点の定款でオンライン出席を規定していなくても出席と認めるそうです。

招集案内で「オンライン出席を認める」旨記載されていなくても OK。

- 松江市 市民部市民生活相談課市民活動推進係

内閣府及び島根県に準じるとの回答でしたが、所轄庁の責任として松江市の見解を(HP 等でわかりやすく)示してくれるよう依頼しました。

松江市からは、事業報告書等は郵送でとのお願いが既に各法人に届いています。

各法人の個別の事情もあると思いますが、内閣府も「柔軟な対応」を所轄庁に伝えていますので、何か問題や気になることがあれば、所轄庁に電話等で(直接行かずに)問い合わせましょう。